平成31年度

入学試験問題

(40分)

国　語

（アカデミーコース）
（特進文理国際コース）

学校法人　成美学園

福知山成美高等学校

受験上の注意
- ○ 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ○ 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- ○ 試験中に問題冊子および解答用紙の汚れなどに気付いた場合は、手を上げて監督者に知らせなさい。
- ○ 問題の答えは、ていねいな字で書きなさい。

一　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（字数については、句読点、「　」なども一字に数えるものとする。）

《 鍋倉健悦（たけよし）『異文化間コミュニケーション入門』 》

（注釈）※1 コナン・ドイル … イギリスの小説家。彼の書いた探偵シャーロック・ホームズとその友人ワトソンが難事件を解決する推理小説が世界中で人気となった

2 闡明 … それまで不明瞭だった道理や意義をはっきりさせること

問1 ――線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

（とめ・はね・はらいに注意して楷書で丁寧に書くこと。）

問2 ――線部Ⅰ「それらの行為に対して、こちらが与えていく意味」とはどのようなことか、次に挙げる具体例として**不適当なもの**を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 目の合った相手が笑顔であったため、自分に好意を持ってくれていると感じる。

イ 鏡に映った髪をとかす自分の表情に対してかわいいなと思う。

ウ メールを友人に送ったが、返信がないため、怒っているのかと心配になる。

エ 学校の校則に反する服装をしている友人は教師に反抗していると考える。

問3 ――線部Ⅱ「両者が、相互に作用し合うメッセージを、それぞれの行動の中に見出し、先行経験を通じて、解釈し意味を与えていく活動」と同じ内容の箇所を――線部Ⅱより前の部分から四十字以内で抜き出し、最初と最後の五字を書きなさい。

問4 ――線部Ⅲ「コミュニケートしないことが不可能になる」のはなぜか、理由を説明しなさい。

問5 空欄［ a ］に入る最も適当な語句を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 包括　**イ** 誤差　**ウ** 拡大　**エ** 合意

問6 空欄［ b ］、［ c ］に入る漢字を書きなさい。ただし、順番は問わないものとする。

問7 ――線部Ⅳ「我々にもある能力」とはどのような能力か、説明しなさい。

問8 空欄［ d ］に当てはまる表現を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 途方に暮れて
イ 勇み立って
ウ 地団駄を踏んで
エ 意気揚々として

問9 文章の内容の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 非言語コミュニケーションとは言葉を発することなく目だけで合図するコミュニケーションである。
イ 非言語コミュニケーションは文化によって受け取るメッセージが異なるため、必ず間違った解釈をされる。
ウ コミュニケーションとは意味が見いだせれば成立するので、派手な服を着ることもコミュニケーションになる。
エ シャーロック・ホームズの推理は、彼の観察力が優れているためにできるのであり、どこの世界にも通用する。

二　次の文章は「とりかへばや物語」の一節である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

いづれも(a)やうやう大人びたまふままに、若君はあさましうもの恥ぢをのみしたまひて、※1御帳のうちにのみ埋もれ入りつつ、絵かき、雛あそび、貝覆ひなどしたまふを、※2殿はいとあさましきことに※3思しのたまはせて、A常にさいなみたまふ。また姫君は、今よりいとさがなくて、をさをさ内にもものしたまはず、外にのみつと(b)おはして、若き男の子ども童べなどと、鞠・小弓などをのみもてあそびたまふ。※4御出居にも人々参りて、※5文作り笛吹き唱うたひなどするにも、走り出でたまひて、①もろともに人も教へきこえぬ琴・笛の音もいみじう吹き立てひき鳴らしたまふ。ものうち誦じ、歌うたひなどしたまふを、参りたまふ※6殿上人・※7上達部などはめでうつくしみきこえつつ、※8「この御腹のをば姫君ときこえしは②ひがごとなりけり」などぞ、みな思ひあへる。人々の参るには、まづB走り出でたまひて、かく馴れ遊びたまへば、③なかなかえ制しきこえたまはねば、ただ若君とのみ思ひて④もて興じうつくしみきこえあへるを、※9さ思はせてのみものしたまふ。御心の中にぞいとあさましく、かへすがへす⑤とりかへばやと思され［　　］。

（設問の都合上、一部を省略・変更しています）

（注釈）※1　御帳　…　帳台。貴人が座ったり、横になったりする際に用いる、帳（カーテン）を張りめぐらした台
2　殿　…　若君と姫君の父親である左大臣をさす
3　思しのたまはせて　…　お思いになって
4　御出居　…　廂の間に設備した客間
5　文　…　漢文。漢籍
6　殿上人　…　帝の居室のある清涼殿に昇ることを許された人
7　上達部　…　公卿。大臣・大納言・中納言・参議、及び三位以上の人
8　この御腹　…　こちらの奥方から生まれたお子
9　さ思はせてのみものしたまふ　…（殿は）そのように思わせてばかりいらっしゃる

問1 ―線部（a）、（b）を現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

問2 ―線部A、Bの主語である人物として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 若君　**イ** 姫君　**ウ** 殿　**エ** 童べ　**オ** 人々

問3 ―線部①～③の本文中での意味として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

①「もろともに」（**ア** いつも　**イ** 一緒に　**ウ** 真っ先に　**エ** 最後に　）

②「ひがごと」（**ア** 間違い　**イ** 常の事　**ウ** 下手な琴　**エ** 言い逃れ　）

③「なかなか」（**ア** 今さら　**イ** まして　**ウ** かえって　**エ** まさしく　）

問4 ―線部④「もて興じうつくしみきこえあへる」の解釈として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 殿の殿上人や上達部がすでに大人だということを忘れ、みんなでからかっている。

イ 若君を、まるで本当の息子のように、愛情をこめてみんなで大切に育てている。

ウ 殿を、まるで幼い男の子であるかのように、面白がってみんなで軽蔑し合っている。

エ 姫君を、まるで男の子であるかのようにもてはやし、みんなでかわいがっている。

問5 ―線部⑤「とりかへばや」の心情として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 殿上人と身分を入れ替えてほしいという気持ち。

イ 若君と同じように接してほしいという気持ち。

ウ 若君と姫君の性別を入れ替えたいという気持ち。

エ 殿上人や上達部に認められたいという気持ち。

問6 本文中の［　　］に入る適語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア けら　**イ** けり　**ウ** ける　**エ** けれ

問7 本文から読み取れる内容として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 若君は恥ずかしがり屋で、雛遊びや文作りなど、女児が室内で行う遊戯を好んでいた。

イ 姫君はひどくおてんばであったが、琴や笛の演奏、朗吟などは女性らしさが滲(にじ)み出ていた。

ウ 「貝覆ひ」とは、男と女が唯一顔を合わせることのできる、室内で行う遊戯であった。

エ 「鞠(まり)」とは、男子が戸外で行う遊戯であり、姫君がそれを好むので殿は困り果てていた。